

建設現場に官民合同パトロールを実施

平成29年12月6日、宮古労働基準監督署では年末年始無災害運動の取組みとして、建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会とともに「平成29年度第二回官民合同パトロール」を実施しました。

建設会館玄関前にて行われた出発式では、宮古労働基準監督署長、建災防宮古分会長の挨拶が行われ、参加者全員で年末年始無災害運動のスローガン

異常なし！

ダブルチェックで念入りに

年末年始もゼロ災害

を指差呼称しました。

その後、2班に分かれ、宮古島市内の計5現場をパトロールしました。

パトロール員からは、

- ・ 足場の墜落防止設備を正しく設置すること
- ・ 安全通路を確保すること
- ・ 足場や型枠支保工の組立・解体箇所は明確に立入禁止とすること

等の指摘がなされ、現場責任者に対して改善を求めました。

また、パトロール後の講評会では、

- ・ 清掃具入れが設置されており置き場所も明確で、現場が綺麗に整理されていた
- ・ 表示関係が充実しており、危険箇所がわかりやすく注意喚起されていた

等の好事例が報告され、それぞれの現場でも参考にすることとしました。



参加者全員でスローガンを指差呼称